

# 平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充    マスタープラン： 3つの挑戦    施策番号： 1-7

局・課名： 建設局道路整備課

<b>事業名</b>	<b>橋りょう耐震強化</b>	<b>事業費(千円)</b>	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額		
			2,010,457	2,696,800	2,364,000		
<b>事業概要</b>	<p><b>【目的】</b> 本事業は、東日本大震災や熊本地震を教訓とし、今後、本市において想定される南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震など大規模災害時に備え、救急救命活動や救援物資の輸送、復旧支援活動を支えるために緊急交通路などに関する重要橋りょうの耐震化を行うものである。また、地域の避難所や病院等へのアクセス確保や、橋りょう直下の道路への橋りょうの倒壊や落橋による被害を防止するため、重要橋りょう以外の橋りょうや横断歩道橋についても計画的に耐震化を行い、災害に強いまちづくりを推進するものである。</p> <p><b>【内容】</b> ○重要橋りょう150橋の耐震化 今後想定される南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震などの大規模災害に備え、平成32年度までに重要橋りょう150橋の耐震化完了を目指す。 ○横断歩道橋71橋の耐震化(緊急交通路等を跨ぐ施設:36橋) 横断歩道橋直下の道路への横断歩道橋の倒壊や落橋による被害を防止するため、平成36年度までに横断歩道橋71橋の耐震化完了を目指す。 ○新耐震事業計画対象橋りょう214橋の耐震化 地域の避難所や病院等へのアクセス確保や、橋りょう直下の道路への橋りょうの倒壊や落橋による被害を防止するため、平成40年度までに新耐震事業計画対象橋りょう214橋の耐震化完了を目指す。</p> <p><b>【今年度要求のポイント】</b> 平成30年度に横断歩道橋と新耐震事業計画の耐震対策詳細設計を開始することで、平成31年度の橋梁耐震強化事業の事業費を急減させることなく継続して事業を進めることができる。今後、国庫補助金を最大限に活用して、橋梁耐震強化事業を推進するためには、必ず平成30年度に横断歩道橋と新耐震事業計画の耐震対策詳細設計を開始する必要がある。</p>	<b>債務負担行為</b>	期間		要求額(千円)		
			H30～H31		79,000		
		<b>主な要求内容</b> (単位:千円)					
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
		工事	2,230,500	1,908,000	大浜高架橋、高倉寺大橋ほか8橋		
		委託(工事)	167,300	20,000	昭代橋		
		(詳細設計等業務)	89,000	288,000	第2今池橋ほか20橋		
		工事監理業務	60,000	78,000			
		負担金(工事)	150,000	70,000	吾彦大橋		
		合計	2,696,800	2,364,000			
<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>							
<b>【経過(～29年度)】</b>		<b>【30年度】</b>		<b>【今後予定(31年度～)】</b>			
平成29年度末整備率91% (136橋/150橋)		工事予定数 12橋 完了予定数 10橋 整備率97%(146橋/150橋) 詳細設計数 21橋		平成31年度から、横断歩道橋と新耐震事業計画対象橋りょうの工事を開始。			
<b>その他 特記事項</b>							
みんなの審査会対象外 関連事業: 橋りょう長寿命化修繕事業							

整理番号 : 19 - 1 - 0060